

アルコール・薬物・ギャンブル依存症の治療に関する社会資源情報作成のための調査 二次調査のお願い

このアンケートは、厚生労働科学研究の一環として、アルコール・薬物・ギャンブル依存症専門医療機関・回復施設の情報を掲載するリストを作成するために行います。リストをもとに将来的にはホームページを作成し、依存症に対応できる医療機関・回復施設の情報を患者様、ご家族、医療関係者などが迷うことなく入手できることを目的としています。

尚、このアンケートは、過日ご協力いただきました同調査の一次調査にて、**依存症医療機関のリストアップの条件を満たした医療機関様、及び依存症医療に取り組んでおられると思われる医療機関様**にお送りする二次調査となります。

ご回答いただいた担当者様の個人名が掲載・公表されることはありません。ご記入いただいたアンケートは当施設内で厳重に管理し、データ入力後にアンケートは速やかに破棄します。また得られた情報は統計学的な処理・分析を行ったうえで、論文や学会、Webなどで発表させていただく場合がございます。

回答時間は15分程度です。日常業務でご多忙かと思いますが、この調査による治療環境の向上などの有用性をご考慮いただき、ぜひともご協力いただくようお願い申し上げます。

また、当研究班では「医療機関における依存症者の社会復帰支援に関する調査」も行っております。この調査のためのアンケート用紙も同封しておりますので、ご回答下さるようお願い致します。こちらの回答は医療機関リスト・HPには掲載されず、調査の目的のみに用いられます。

両アンケート用紙にご記入いただき、添付の返信用封筒をご利用の上、平成28年9月9日(金)までにご返信ください。

本調査の重要性を鑑み、何卒ご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

返信・問い合わせ先

厚生労働科学研究

「アルコール依存症に対する総合的な医療の提供に関する研究」(研究代表者：樋口進)

研究分担者：湯本洋介

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

〒239-0841 横須賀市野比5-3-1

: 046-848-1550 FAX: 046-849-7743

e-mail: hirika_taru@yahoo.co.jp

医療機関名： _____

回答者

部署または役職（掲載しません）： _____

氏 名（掲載しません）： _____

この調査内容をホームページ作成の際に掲載してもよいですか。 はい ・ いいえ
条件付きで可(条件： _____)

1. 診療可能な依存症の種類を教えてください（あてはまるものすべてに をしてください）

1. アルコール 2. 薬物 3. ギャンブル 4. その他（具体的に）： _____

2. 診療している依存症患者数は年間およそどのくらいですか？

（すべての依存の合計。概算でけっこうです）

_____ 名

3. 依存症の通常の入院期間はおよそどのくらいですか？

アルコール 1. 1ヶ月未満 2. 1～3ヶ月未満 3. 3～6ヶ月未満 4. 6ヶ月以上
薬物 1. 1ヶ月未満 2. 1～3ヶ月未満 3. 3～6ヶ月未満 4. 6ヶ月以上
ギャンブル 1. 1ヶ月未満 2. 1～3ヶ月未満 3. 3～6ヶ月未満 4. 6ヶ月以上

（入院加療を実施していない項目は をつけなくてけっこうです）

4. 重度アルコール依存症入院医療管理加算を算定していますか？

1. 算定している 2. 算定していない

5. 依存症家族の相談は受けていますか？ 受けている場合、どのように受けていますか？

1. 受けている（1. 電話 2. 来院 3. 電話も来院も両方受ける）
2. 受けていない

6. 依存症家族教室はありますか？

アルコール家族教室 1. あり 2. なし

薬物家族教室 1. あり 2. なし

ギャンブル家族教室 1. あり 2. なし

依存対象に関わらず、合同の家族教室 1. あり 2. なし

7. 依存症初診診療は予約制ですか？
 1.はい 2.いいえ 3.その他()
8. 来院時に酩酊している場合はどのように対応していますか？
 1.診察する
 2.その時は診察せず、アルコールが抜けてから受診するように促す。
 3.その他()
9. 節酒の希望を示す患者にどのように対応していますか？
 1.断酒以外は認めない。
 2.断酒に導くための段階的/中間的な目標として受け入れる。
 3.最終治療目標として節酒を受け入れる。
 4.その他()
10. 診察場面で患者から違法薬物の使用を告白された場合は、原則としてどのように対応していますか？
 1.警察に通報する。
 2.自首を勧める。
 3.上記1.2にいずれもせず、今後の治療の進め方について話し合う。
11. 依存症プログラムは入院・外来のどちらですか？
 1.入院 2.外来 3.両方
12. 依存症を対象としたデイケアプログラムはありますか
 1.依存症デイケアがある。
 2.精神科デイケアがあり、依存症者も参加できる。
 3.ない

実施プログラムなどを問う質問が別紙表にあります。記載をお願い致します。

「医療機関における依存症者の社会復帰支援に関する調査票」の記載もお願い致します。

- 13.その他、ご意見やご要望があればお書きください。各設問の余白に書いていただいてもけっこうです。

お忙しいところ、ご回答ありがとうございました。

最後に回答に抜けている箇所がないかどうか、今一度ご確認の程をよろしくお願い致します。